

科目名 (科目番号)	高齢者障害 基礎理学療法学 (062141)	教員名	松嶋 美正 有田 真己	学科等	理学療法	必修	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割参照		単位数	1
				オフィスアワー		金曜・5限	A302(松嶋)	
授業概要	高齢者の生活機能は一様ではなく、シニアオリンピックで活躍する者から寝たきりの者まで多様である。本講義では成人以降の加齢変化、いわゆる”老化”についての定義や社会的背景、感覚や運動などの生理機能、果ては心理に至るまで幅広い視点から学習する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること							
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標					
	1	老化とは	到達目標:老化や高齢者の概要が理解できる 学習内容:老化の定義,老化の機序について学習する。高齢者の定義および年齢区分について学習する。					
	2	高齢者と人口動態	到達目標:高齢者の疾病構造が理解できる 学習内容:我が国における人口動態および人口静態について学習する。高齢者に焦点を当てた疾病構造の特徴について学習する。					
	3	感覚機能の加齢変化	到達目標:人体への加齢の影響が理解できる 学習内容:視覚,聴覚,体性感覚に及ぼす加齢の影響について学習する。					
	4	運動機能の加齢変化	到達目標:人体への加齢の影響が理解できる 学習内容:筋力,平衡能力,歩行,反応時間などに及ぼす加齢の影響について学習する。					
	5	精神機能・心理の加齢変化	到達目標:人体への加齢の影響が理解できる 学習内容:知能や記憶における加齢の影響について学び,さらに高齢者の心理特性について概説する。					
	6	自律機能の加齢変化	到達目標:人体への加齢の影響が理解できる 学習内容:循環機能,呼吸機能,消化吸収機能,排尿機能,体温調節機能,免疫機能,内分泌機能に及ぼす加齢の影響について学習する。					
	7	老年症候群(1)	到達目標:老年症候群について理解できる 学習内容:老年症候群の定義や分類について学習する。老年症候群を構成する意識障害,認知症,せん妄,抑うつ,不眠,眩暈,痺れ,言語障害,腰痛,歩行障害について学習する。					
	8	老年症候群(2)	到達目標:老年症候群について理解できる 学習内容:老年症候群を構成する転倒,尿失禁,便秘,長期臥床,廃用症候群,褥瘡,脱水,浮腫,嚥下障害,低栄養について学習する。					
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
15								
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)により評価する。							
教科書	標準理学療法学・作業療法学 老年学		大内尉義 編集			医学書院		
参考図書	老人のリハビリテーション, 老年学テキスト		前田真治(著), 飯島 節・鳥羽 研二(編集)			医学書院, 南江堂		
教員からのメッセージ	理学療法の年齢区分からみた対象で最も多いのは高齢者です。その点を踏まえて本講義に臨んでください。また,前半では生理学の知識を必要としますので,しっかり生理学の復習を行っておいてください。							